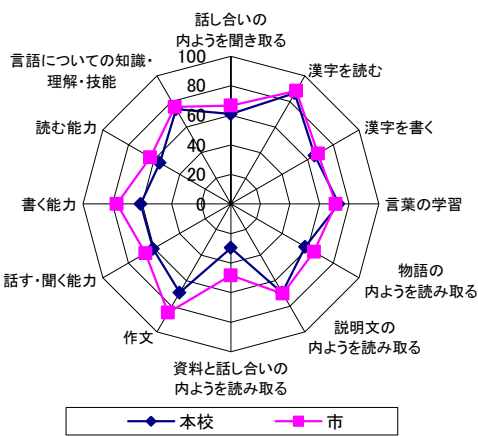


宇都宮市立上河内東小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの円ようを聞き取る	60.8	66.6
	漢字を読む	86.5	88.4
	漢字を書く	65.5	68.2
	言葉の学習	73.0	71.0
	物語の円ようを読み取る	58.1	64.9
	説明文の円ようを読み取る	69.4	70.1
	資料と話し合いの円ようを読み取る	29.7	48.3
	作文	69.3	84.9
観点別	話す・聞く能力	60.8	66.6
	書く能力	60.9	77.1
	読む能力	55.6	63.0
	言語についての知識・理解・技能	74.1	75.8



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの円ようを聞き取る	・平均正答率は、60.8%で、市の平均を5.8ポイント下回った。話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことはできていたが、話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことや司会の役割を理解して、適切な言葉づかいで話すことは市の平均を下回った。	・国語の時間に話し合いの仕方について全体指導をしていく。特に、司会者・発表者の役割を再確認するとともに、様々な場面で全員に司会の経験をさせていきたい。また、普段から話をよく聞く態度・習慣を身に付けさせたい。意識して話を聞く場面を授業の中で多く取り入れたり、ワークシートを用いて話し合いの内容を聞き取る練習問題に取り組ませていく。
漢字	・漢字を読むの平均正答率は、86.5%で市の平均を1.9ポイント下回った。漢字を書くは、65.5%と2.7ポイント下回ったが、市の平均とは大差がなかった。	・4年生の漢字について、繰り返し練習問題に取り組ませるとともに、日常の作文や連絡帳、感想文、日記帳などの中で習った漢字を使えるようにさせていく。また、分からない漢字をそのままにせずに、辞書を活用しながら言葉の意味とともに漢字の読み書きを習得させていきたい。漢字検定などを活用し、漢字練習に自主的に取り組めるようにし、意欲の向上をは図りたい。
言葉の学習	・平均正答率は、73.0%で市の平均を2.0ポイント上回った。漢字の成り立ちや句読点の打ち方、同音異字の使い分けについては市や全国の平均を上回った。ことわざの使い方が平均より下回った。	・ことわざの使い方についての正答率が低かったことから、3・4年生の復習として、ことわざの使い方の学習を行う中で、その意味や使い方を理解させる。発表の機会を設けることで、たくさんのことわざに触れる機会を数多く設ける。
物語の円ようを読み取る	・平均正答率は、58.1%と6.8ポイント市の平均を下回った。場面の情景や登場人物の気持ちを読みととることや、場面の描写をとらえて表現の特徴をつかむことの正答率が低かった。	・週2回、朝の読書の時間を有効に活用し、読書の推進を行ったり、授業中や家庭学習で音読活動を積極的に行ったりすることで、文章に親しむ機会を数多く設ける。登場人物の心情や、物語の背景などを表現する言葉を探す活動を通して読み取る力を伸ばしていく。
説明文の円ようを読み取る	・平均正答率は、58.1%と市の平均を9.4ポイント下回った。文章の内容を的確に押さえながら読み取ることや段落のまとまりを考えながら読み取る問題の正答率が低かった。	・全文を読んで形式段落ごとに番号をつけさせ、それぞれの段落についてまずは、書かれている内容を短くまとめさせることで、内容をとらえさせる。文章構成図を活用したり、キーワードを抜き出させたりすることで、文章全体の構成をとらえさせながら要旨をまとめていく学習を行う。
資料と話し合いの円ようを読み取る	・平均正答率は、29.7%で市の平均を6.8ポイント下回った。与えられた資料を読み取り、求められている情報を的確に取り出す問題の正答率が低かった。	・音読活動を積極的に取り入れったり、内容の共通点や相違点などを意識させたりして、教材文の内容を正確にとらえさせる。段落に小見出しをつけることで、段落の内容を自分なりにまとめさせるようにする。
作文	・平均正答率は、69.3%と市平均より15.6ポイント下回った。指定された長さで文章を書くことや2段落構成で文章を書くこと、自分の意見とその理由を区別して書く項目で、市の平均を下回った。	・簡単なテーマや字数の制限を与え、普段から文章を書く経験を増やすことで、文章を書くことへの抵抗を減らしていきたい。日記や学校行事の作文などを書くことで、自分の考えや、感想を「書く」ことができるような機会を設定していく。